

1. 交付金事業の名称 原子力・エネルギー教育支援事業
2. 交付金事業の事業主体 山形県
3. 交付金事業の実施場所 山形県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要となる以下の内容を実施した。

【県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

○原子力・放射線の学習に関する教材の整備（村山産業高校）

・放射線の特性実験セットを整備し、原子力・放射線の学習に活用した。

○発電・エネルギーの学習に関する教材の整備（酒田東高校、村山産業高校、米沢東高校、酒田光陵高校）

・大型燃料電池実験装置、火力発電モデル実験器等を整備し、発電・エネルギーの学習に活用した。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費 3,678,960 円

交付金充当額 3,678,960 円

6. 交付金事業の成果及び評価

- ・当事業により、原子力・エネルギーについて生徒の理解が促進されたと回答した割合【理解度】は、実験器具・実験材料の整備が目標80%に対して実績85%だった。
- ・実験器具・実験材料の整備事業を実施したことにより、エネルギー交換効率や熱効率を定量的に評価できたり、再生可能エネルギーにおける有用性と課題を発見するなど、実際に実験器具を使用して実験を行ったことで、放射線や原子力を含むエネルギーに関する興味・関心が高まり、原子力・エネルギーについて生徒の理解が促進された。
- ・原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として当事業が促進されたと回答した割合【満足度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標80%に対して実績85%だった。
- ・本事業を実施したことにより、原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として、高性能で有用な実験器具の整備により実験や体験をとおした学習が実施できたことで、実験器具・実験材料の整備事業が促進されたと評価できる。